

0 次期教育振興基本計画のコンセプト

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響とロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化（予測困難な時代）
⇒ 浮き彫りになった課題と学校・教育の役割、学びの容容
- 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出すための教育の実現にむけた個別最適・協働的な学び、学習者主体、「自立」、「協働」、「創造」という基軸の発展的継承
⇒ 共生社会の実現、多様な個人と地域や社会のウェルビーイングの実現
- グローバル化、少子化・人口減少の中で、持続可能な社会の発展を生み出す人材の育成
⇒ 主体的な社会形成参画、生涯学び続ける学習者、課題の発見・解決のための学びをいつでも受けられる環境整備
- デジタルトランスフォーメーション（DX）を教育・学習全体の中に組み込む

これらを通じた Society 5.0の実現

I 我が国の教育をめぐる現状と課題

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

▶ 教育振興基本計画は、予測困難な時代における我が国の教育の方向性を示す羅針盤となるもの

第3期計画期間中の成果	第3期計画期間中の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善と支援スタッフの充実 等 ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、認証評価のための法改正、連携・統合のための体制整備 等 ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や長寿命化、耐震化の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でのグローバルな人的交流の減少や体験活動の停滞 ・いじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数の増加 ・学校における長時間勤務や教師不足 ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化 ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷 ・教育改革に対する大学間の取組差、博士課程進学率の低さ 等

社会の現状や変化への対応

- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・新型コロナウイルス感染症、学校の福祉的役割
- ・社会のDXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・国際情勢の不安定化
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・共生社会・社会的包摂
- ・18歳成年・こども基本法 等

II 今後の教育政策に関する基本的な方針

- ① **日本社会に根差したウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進**
 - ・誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びを日常の教育活動に取り入れることにより、一人一人のウェルビーイングを向上
 - ・子供が抱える課題が多様化・複雑化する中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実やマイノリティの子供の強みに着目するエンパワメントの視点により、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
 - ・調和と協調ある日本発のウェルビーイングとして「主観的な幸福感」「開放的協調性と多様なつながり」「自己肯定感と自己実現」を重視
 - ・教師のウェルビーイングの確保、社会教育を通じた地域コミュニティを基盤としたウェルビーイングの実現
 - ・組織の境界を越えた学び合い、風通しの良い組織形成を重視し、同調圧力への偏りから脱却
- ② **グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成**
 - ・気候変動などの地球環境問題や都市と地方の格差などの社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上に向けて、「人への投資」が必要
 - ・グローバル化が進展する中で、持続可能な社会の創り手の育成に向けて、留学等の国際交流活動や大学等のグローバル化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
 - ・主体的に社会の形成に参画する態度の育成や、デジタルやグリーン等の成長分野の人材育成に向けて、課題解決型学習やキャリア教育、探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
 - ・人生100年時代のマルチステージにおける、学校における学びの多様化やリカレント教育の推進
- ③ **地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進**
 - ・社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
 - ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
 - ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、高齢者を含むすべての人のウェルビーイングを向上。障害者の生涯学習機会の拡充に向けた取組推進
- ④ **教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進**
 - ・DXに至る3段階（電子化(Digitization)→最適化(Digitalization)→新たな価値(DX)）において、当面、第3段階を見据え、そのイメージを持ちながら、第1段階から第2段階への移行を着実に推進
 - ・教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進
 - ・各学校段階に応じ、情報活用能力の育成、校務DXを通じた教育データ利活用・働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、GIGAスクール構想、DX人材の育成等を更に推進
 - ・デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ
- ⑤ **計画の実効性確保のための基盤整備・対話**
 - ・経済的・地理的状況によらない学びの確保、指導体制・ICT環境等の整備、学校における働き方改革の更なる推進、NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保
 - ・各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

次期教育振興基本計画における各論項目（案）

【基本的方針】

- ①日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進
- ②グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

	次期計画の目標 （案）	基本的方針との主な対応関係	基本施策（案）
1	確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成	①②④	個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実、主体的・対話的で深い学びと学習指導要領、全国学力・学習状況調査の実施・分析・活用、幼児教育、高等学校教育改革、大学入試、学修者本位の教育、文理横断・融合、キャリア教育・職業教育、学校段階間・学校と社会の接続
2	豊かな心の育成	①②③	子供の権利利益の擁護、主観的ウェルビーイングの向上（自己肯定感、他者とのつながり等）、道徳教育、いじめ・人権教育、発達支持的生徒指導、生命の安全教育、体験・読書活動、伝統文化、青少年健全育成、文化芸術による子供の豊かな心の育成
3	健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	①③	学校保健・学校給食、食育、生活習慣の確立、学校体育の充実・高度化、運動部活動改革の推進と身近な地域における子供のスポーツ環境の整備充実、アスリートの発掘・養成支援、体育・スポーツ施設の整備充実、スポーツ実施者の安全・安心の確保、スポーツを通じた健康増進、スポーツを通じた共生社会の実現・障害者スポーツの振興
4	多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂	①③④	特別支援教育（病气療養、医療的ケア、学校施設のバリアフリー化を含む）、不登校児童生徒、ヤングケアラー、子供の貧困、高校中退、海外で学ぶ日本人・日本で学ぶ外国人等、夜間中学、定時制・通信制、高等専修学校、日本語教育、教育相談、特異な才能のある児童生徒、大学等における学生支援、障害者の生涯学習、障害者の文化芸術活動

5	主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成	①②	子供の意見表明、主権者教育、持続可能な開発のための教育（ESD）、男女共同参画、消費者教育、環境教育（学校施設の脱炭素化を含む）、災害復興教育
6	グローバル社会における人材育成	①②④	日本人学生・生徒の海外留学、外国人留学生の受入れ、高等学校・高等専門学校・大学等の国際化、外国語教育の充実、国際教育協力と日本型教育の海外展開、在外教育施設、芸術家等の文化芸術の担い手の育成
7	イノベーションを担う人材育成	②④	探究・STEAM教育、大学院教育改革、若手研究者・科学技術イノベーションを担う人材育成、高等専門学校の高度化、専門人材育成（大学・専門学校等）、理工系分野をはじめとした女性の活躍推進、優れた才能・個性を伸ばす教育、アントレプレナーシップ教育、大学の共創拠点化
8	リカレント教育（学び直し）をはじめとする生涯学習の推進	②③④	大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実、働きながら学べる環境整備、リカレント教育のための経済支援・情報提供、女性活躍に向けたリカレント教育、高齢者の生涯学習、リカレント教育の成果の適切な評価・活用、学習履歴の可視化（生涯学習）、生涯を通じた文化芸術活動の推進
9	学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	①③	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実、部活動の地域移行
10	地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進	③④	社会教育施設機能強化、社会教育人材養成・活躍機会拡充、地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携
11	教育DXの推進・デジタル人材の育成	④	1人1台端末の活用、児童生徒の情報活用能力の育成、教師の指導力向上、教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データ分析・利活用、デジタル人材育成（高等教育）、教育環境のデジタル化（高等教育）、社会教育分野のデジタル活用推進
12	指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化	④⑤	指導体制の整備、学校における働き方改革の更なる推進、校務DX、教師の資質能力の向上、ICT環境の充実、教育研究の質向上に向けた基盤の確立、高等教育機関の連携・統合
13	経済的状況、地理的条件によら	⑤	教育費負担軽減、へき地や過疎地域等における学びの支援、災害時における学びの支援

	ない質の高い学 びの確保		
14	NPO・企業・地域 団体等との連 携・協働	⑤	NPO との連携、企業との連携、スポーツ・文化芸術団体との 連携、医療・保健機関との連携、福祉機関との連携、警察・ 司法との連携、関係省庁との連携
15	安全・安心で質 の高い教育研究 環境の整備、児 童生徒等の安全 確保	⑤	学校施設整備（新たな時代に対応した学校施設、老朽化対 策、防災機能強化、脱炭素化、バリアフリー化等）、学校に おける教材等の充実、私立学校の教育研究基盤整備、文教施 設の官民連携、学校安全の推進
16	各ステークホル ダーとの対話を 通じた計画策 定・フォローア ップ	⑤	各ステークホルダー（子供含む）からの意見聴取・対話